【別紙】

第 13 回科学の甲子園ジュニア全国大会　開催概要

1．　目的

科学の甲子園ジュニア全国大会（以下、「全国大会」という。）は、理科、数学などにおける複数分野の競技に協働して取り組むことを通じて、全国の中学生が科学の楽しさ、面白さを知り、科学と実生活・実社会との関連に気付き、科学を学ぶことの意義を実感できる場を提供することによって、科学好きの裾野を広げるとともに、未知の分野に挑戦する探究心や創造性に優れた人材を育成することを目的とする。

2．　全国大会の実施・協力体制

⑴ 主催　国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）
⑵ 共催　兵庫県、兵庫県教育委員会、姫路市、姫路市教育委員会
⑶ 後援　文部科学省（予定）、全日本中学校長会（予定）、全国中学校理科教育研究会（予定）、
　　公益社団法人日本理科教育振興協会
⑷ 都道府県教育委員会及び協働パートナーの協力を得て開催する。

3．　開催日程

⑴ 令和 7 年 12 月 12 日（金）～14 日（日）の日程で全国大会を開催する。
⑵ 大会の日程は以下のとおり（行事は変更する場合がある）。
　12 月 12 日（金）　開会式、オリエンテーション
　12 月 13 日（土）　筆記競技、実技競技、フェアウェルパーティー
　12 月 14 日（日）　協働パートナー等によるブース展示、表彰式

4．　場所

兵庫県立武道館（兵庫県姫路市西延末 504 番地）

5．　出場チーム

(1) 全国大会出場チームは、学校教育法（昭和二十二年法律第二十六号）に定める中学校、義務教育学校後期課程、中等教育学校前期課程、特別支援学校中学部（以下、中学校等）に所属する生徒で構成する。なお、構成員は中学校等での通算在籍が過去の在籍も含め 2 年未満の生徒とする。
(2) 全国大会出場チームの員数は 6 人とする。
(3) 全国大会出場チームは単一校のほか、複数校での編成を認める。
(4) 全国大会出場チームは、1 都道府県 1 チームとし、全ての都道府県から出場するものとする。
(5) 各都道府県教育委員会は都道府県大会を行う等により、全国大会出場チームを選出する。その選出方法は当該都道府県教育委員会の定めるところによる。

6．　競技の種類

大会競技は筆記競技と実技競技からなる。

(1)　筆記競技

筆記競技は理科・数学等の複数分野において、実生活・実社会との関連、融合領域に配慮した

出題とし、生徒の修得済みの知識に加えて、競技に必要な新たに示された情報を統合することで課題を解決する内容とする。

(2)　実技競技

実技競技は、ものづくりの能力、コミュニケーション能力等を用いて課題を解決する力を競うものとする。

7．　競技の形式

筆記競技、実技競技ともに、各出場チームが競技ごとに定められた複数人からなる競技チームを構成し、課題を分担、相談するなど協働してその成果を競い合う形式のものとする。

競技数、競技者数及び競技時間は以下のとおり。

種目	競技数	競技者数	配点比率	競技時間
①筆記競技	1 競技	6 名/1 競技	筆記競技と実技競技の配点比率は 1:2 とする。	70 分程度
②実技競技	2 競技	3 名/1 競技		競技毎に決定

8．　表彰等

(1)　主催者が定めた審査委員会が、各競技の成績点数の合計によって優勝チームを決定する。

(2)　優勝チームに、文部科学大臣賞を授与する。

(3)　大会成績により、その他の表彰を授与する。

(4)　大会成績上位の出場チーム名を公表する。出場チームの成績は当該教育委員会に提供する。

9．　費用負担

(1) 全国大会開催にかかる費用、及び、出場チームの選手及び引率教員 2 名の全国大会会場までの往復交通費と宿泊費等は、原則として JST が負担する。

(2) 都道府県代表選考、及び、選考された代表チームの研修にかかる費用のうち、認められるものについては JST がその費用を支援する。但し、都道府県にも応分の負担を求めるものとする。

10．都道府県への支援

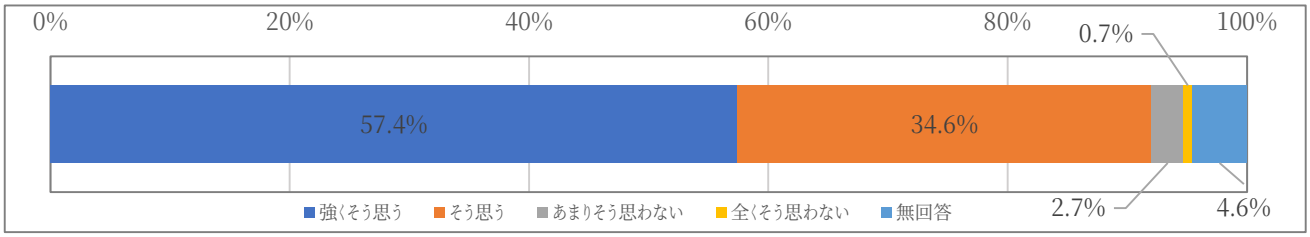
9.(2)の支援のほか、JST は都道府県が代表チームを選考、研修できるよう、その他の支援を行う。

以 上

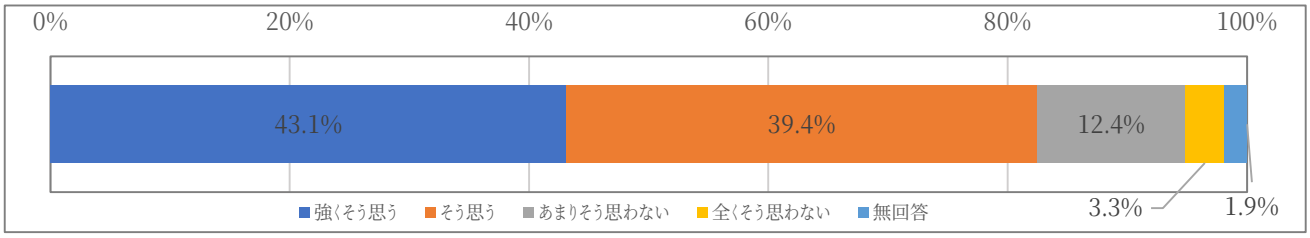
（参考）

令和 6 年度都道府県大会（中学版）参加生徒へのアンケート結果

1.　参加して良かったと思いますか

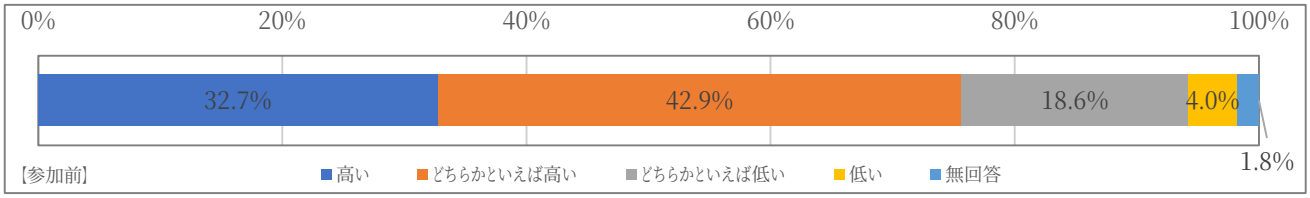


2.　このような機会があれば後輩にも参加させたい

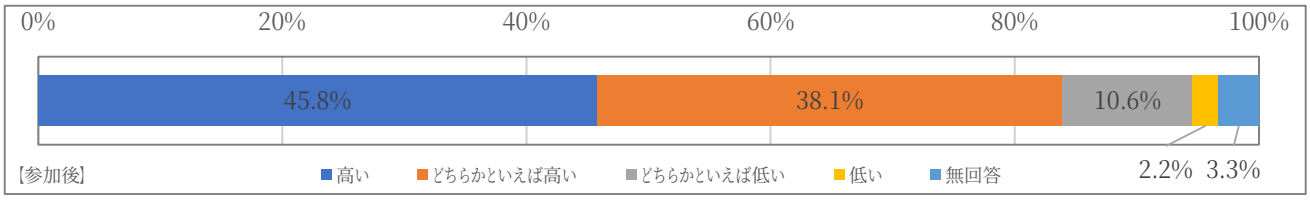


3.　科学技術に関する学習意欲について（都道府県大会参加前と参加後での変化）

（参加前）



（参加後）



※　令和 6 年度の各都道府県大会のアンケート結果をまとめて集計

※　いずれのアンケートも N=5,947